



報道発表資料
平成21年10月6日
久留米市

結核集団感染事例の発生について

久留米市内において結核の集団感染事例が確認されましたので、以下のとおり概要をお知らせします。

1. 概要

久留米市では、平成21年3月に市内在住の飲食店従業員が結核を発症したという届出を受け、接触者の調査及び健康診断を実施したところ、これまでに接触者の中から発病者3名、感染者3名の発生が確認され、「結核集団感染事例」と判明しました。
なお、現在、発病者・感染者に他者への感染性はなく、必要な治療及び指導を受けています。

2. 初発患者・接触者健診の状況

〔初発患者〕20歳代女性（市内在住、飲食店（スナック）従業員）
今年3月に結核の診断を受け入院治療後、現在、通院治療中。

〔接触者健診の状況〕平成21年10月6日現在
健診実施者：22名
発病者3名（従業員1名、利用客2名）
感染者3名（従業員3名）
（合計6名）

3. 対応状況

- 初発患者の状況を踏まえ、濃厚接触者に対し健康診断を実施し、以下の対応を進めています。
- ① 発病者に対しては、医療機関による適切な治療を受けるよう指導し、感染症法に基づき患者管理をしていきます。
 - ② 感染者に対しては、予防内服により結核発病を予防するとともに、発病の有無について感染症法に基づき管理していきます。
 - ③ 濃厚接触者に対しては、最長2年間の経過観察を行い、結核の早期発見に努めます。
 - ④ 市民に対して今後も結核に関する啓発を行います。

市民のみなさまへ

- 1 長引く咳（せき）・痰（たん）は要注意（早期発見・早期治療）
肺結核の初期症状は風邪に似ています。咳や痰が長引く（約2週間）ときは結核も疑って早めに医療機関を受診しましょう。
- 2 定期健康診断（胸部レントゲン検査）の受診（早期発見）
市が行っている結核の住民健診（原則65歳以上）や職場等での健康診断を毎年受診し、健康管理に心がけましょう。
- 3 BCGの早期接種（乳幼児の結核予防）
乳幼児が結核に感染すると、重症の結核になりやすいので、生後6月までにBCG接種を受けましょう。

＜結核集団感染事例＞

年 件数	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年
全国	42件	46件	36件	32件	34件	
福岡県	2件	2件	3件	4件	0件	0件
久留米市	—	—	—	—	—	0件

＜用語の定義＞

（１）結核集団感染

同一の感染源が２家族以上にまたがり、２０人以上に感染させた場合をいう。ただし発病者１人は６人が感染を受けた者として感染者数を計算する。

今回の場合、初発患者を除く発病者は３人、感染者が３人であるので、 $3人 \times 6 + 3人 \times 1 = 21人$ となる。

（２）感染と発病

感染：結核菌を吸い込んでも身体の免疫により、発病に至っていない状態。

発病：感染後結核菌が活動を始めること。特に身体が弱ったときなど身体の免疫力の低下、抵抗力の低下により発病しやすくなります。

- ・感染しても全員が発病するわけではなく、発病するのは１０人に１～２人程度とされています。
- ・発病する人のうちの６０～８０％は感染後５～６ヵ月から２年くらいの間に発病すると言われています。
- ・不規則な生活や糖尿病、過労やストレス、また不十分な食事で栄養が不足すると発病しやすくなります。

◆問合せ先

健康福祉部保健所保健予防課

担当：宮本・古賀

TEL 0942-30-9730

FAX 0942-30-9833